

(5) 令和7年度の取組予定

令和7年度取組予定 樋門の耐震化・津波対策(土木課)

阿南市

辰巳工業団地の2樋門に阿南市役所から遠隔操作及び緊急時の自動閉鎖が可能なシステムを導入。
派川辰巳那賀川樋門の耐震対策完了。
引き続き、辰巳那賀川樋門の耐震対策を進める。

辰巳那賀川樋門



R5年度 : 詳細設計業務完了。
R6年度 : 樋門新設工事に着手。
R7年度以降: 引き続き耐震対策を進める。
(樋門新設及び既設樋門撤去工事を実施)



辰巳派川那賀川樋門



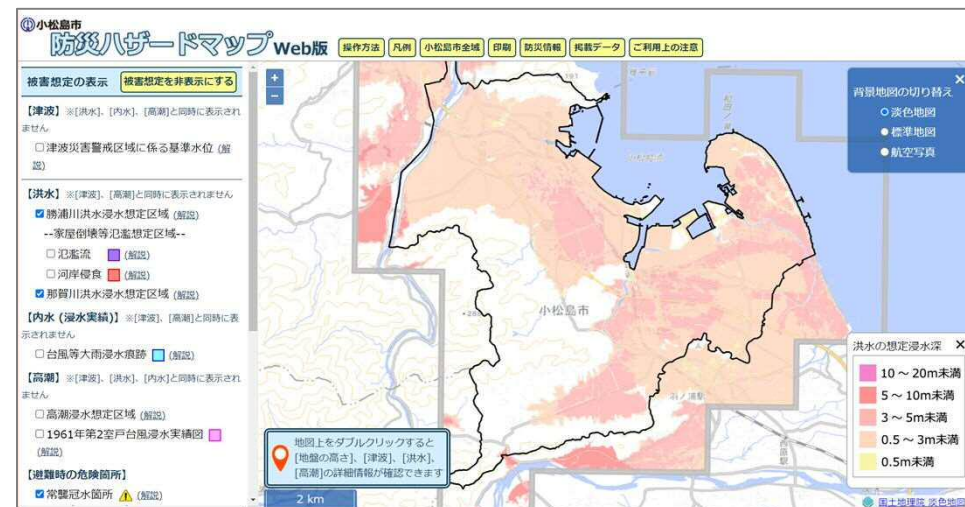
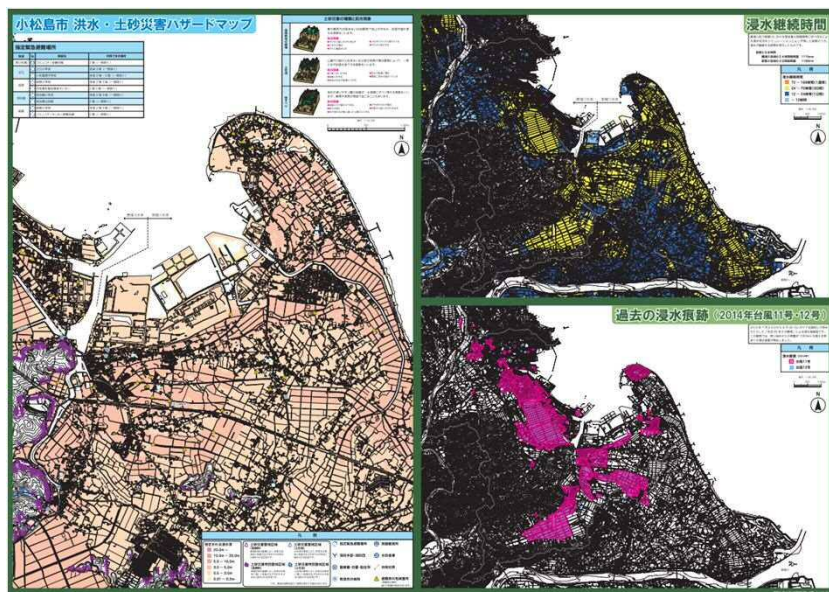
耐震化、津波対策 完了済

令和7年度取組予定 洪水ハザードマップの更新

小松島市

徳島県による中小河川を対象とした洪水浸水想定区域図の公表に伴う
洪水ハザードマップの更新

- ・令和7年度中に、徳島県より公表予定の本市に位置する中小河川13河川の洪水浸水想定区域図を参考に、現行のハザードマップの更新を実施。
- ・紙媒体のハザードマップの更新に加え、インターネット上で公開しているハザードマップWEB版についても、同時に更新予定。



令和7年度取組予定 防災行政無線放送アプリの活用

小松島市

令和6年8月より運用を開始した「コスモキャスト」による
防災行政無線の放送内容のスマートフォンでの視聴

・防災行政無線の屋外スピーカーの放送が聞き取りにくいという課題を解決するため、放送内容をスマートフォンで視聴することができるアプリを導入。

・緊急時には、マナーモード時でも、強制的に放送内容を再生させるほか、過去10件の放送内容をアプリで聞くことができる。

・令和7年度は、「文書メッセージ」機能の活用に力を入れ、住民への災害・防災情報の伝達を強化する。



通常放送

→マナーモード時には、再生ボタンをタップすることで放送内容を聞くことができる。

緊急放送

→マナーモード時でも強制的に音声を流す。但し、電源を切っていれば流れない。



各地区自主防災会組織において那賀町ハザードマップを活用した研修会を実施

那賀町自主防災会 組織率94% 組織数124

[illegible]

那賀川水系大規模減災協議会 令和7年度取組予定（継続） 徳島県

■被害軽減、早期復旧・復興のための対策

- 「水害リスク情報」のさらなる充実、住民目線に立った避難行動につながる「情報発信の強化」や防災エキスパートから分かりやすく学ぶ「防災出前講座」の実施により、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指す

<水害リスク情報空白域の解消（継続）>

- ・全ての県管理河川で洪水浸水想定区域図を「作成・公表」
- 全ての河川で公表
- 市町村が作成する「ハザードマップ」に対して「財政・技術支援」（新規）

<防災出前講座の実施（継続）>

- ・避難の実行性を高めるため、VR動画等を活用した水害についての基礎知識の学習
- ・ファミリータイムラインの作成を支援

<水災害に関する減災会議（継続）>

- ・「激甚化・頻発化」する水災害の教訓を踏まえ、市町村と「避難判断」に関する「防災情報」を共有
- ・確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取り組む

<住民目線に立った情報発信（継続）>

- ・ダム放流開始の通知
- ・徳島県公式LINEによるPUSH型配信
- 県民に迅速・確実に伝えるため、「自動発信機能」を構築（新規）
- ・河川監視カメラ、水位計の情報提供

<住民への周知・啓発（継続）>

- ・住民へ広く周知・啓発するため、商業施設でのパネル展の開催やパンフレットの配布

<特定都市河川の指定に向けて（継続）>

- ・特定都市河川の指定を見据え流域治水の勉強会や協議会を開催



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組予定 徳島地方気象台

①気象防災ワークショップの実施 継続

- 気象台からの情報に基づき、防災対応を疑似体験するワークショップを行なう。参加者は、災害の状況を想定し、グループで情報を参照しながら対応を検討する。

②常時接続を用いた市町村への解説 継続

- 気象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

③アンケートフォームによる振り返りの実施 継続

- アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。

④各種防災訓練やイベント等への参加 継続

警戒レベル相当情報の体系整理

◎シンプルでわかりやすい 情報体系・名称に整理

【洪水】

氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。

**これ以外の河川の外水氾濫については、
内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する
【大雨浸水】に関する情報とする。**

令和8年度出水期の運用開始を目指し、発表対象エリアの設定を行うための資料提供を各位にはお願いします。

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

令和7年度取組予定 自然災害伝承碑の取組(継続)

国土地理院

○ 過去に起きた津波や洪水などの自然災害の情報を伝える石碑やモニュメントを「自然災害伝承碑」として地理院地図などへ掲載することにより、自然災害の教訓を地域のみなさまに適切にお伝えし、先人の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

防災基本計画（令和6年6月一部修正）

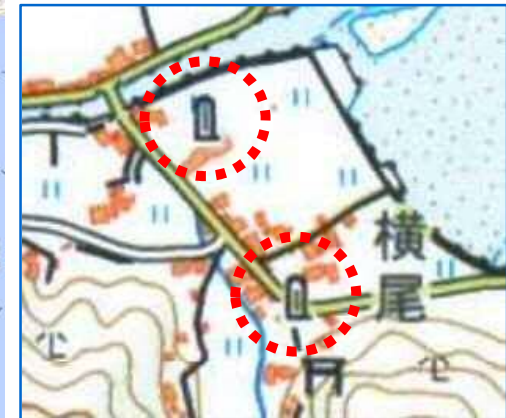
第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

4 災害教訓の伝承

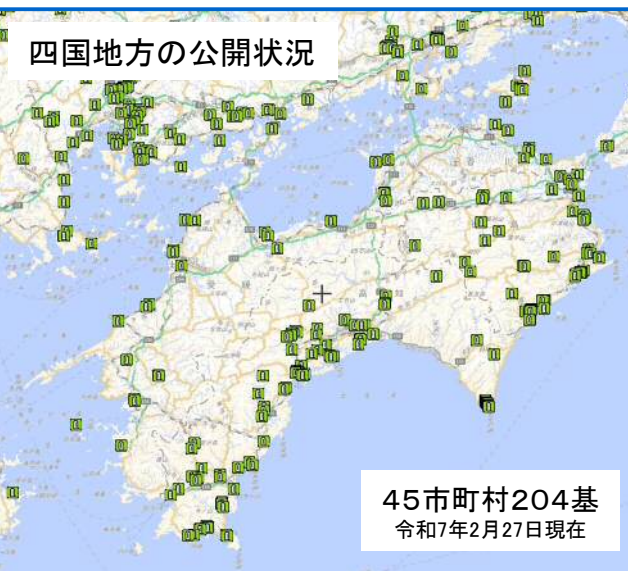
国及び地方公共団体は、過去に起こった大規模災害の教訓や災害文化を確実に後世に伝えていくため、（略）広く一般の人々が閲覧できるように地図情報その他の方法により公開に努めるものとする。また、災害に関する石碑やモニュメント等の**自然災害伝承碑**が持つ意味を正しく後世に伝えていくよう務めるものとする。



新刊行の紙地図に掲載



2万5千分1地形図「橘」「阿部」(部分拡大)



地理院地図

↓
「災害伝承・避難場所」

↓
「自然災害伝承碑」

↓
「災害区分」

↓
地図記号をクリック
伝承碑画像をクリック

↓
碑名、災害名、伝承内容
などが表示されます



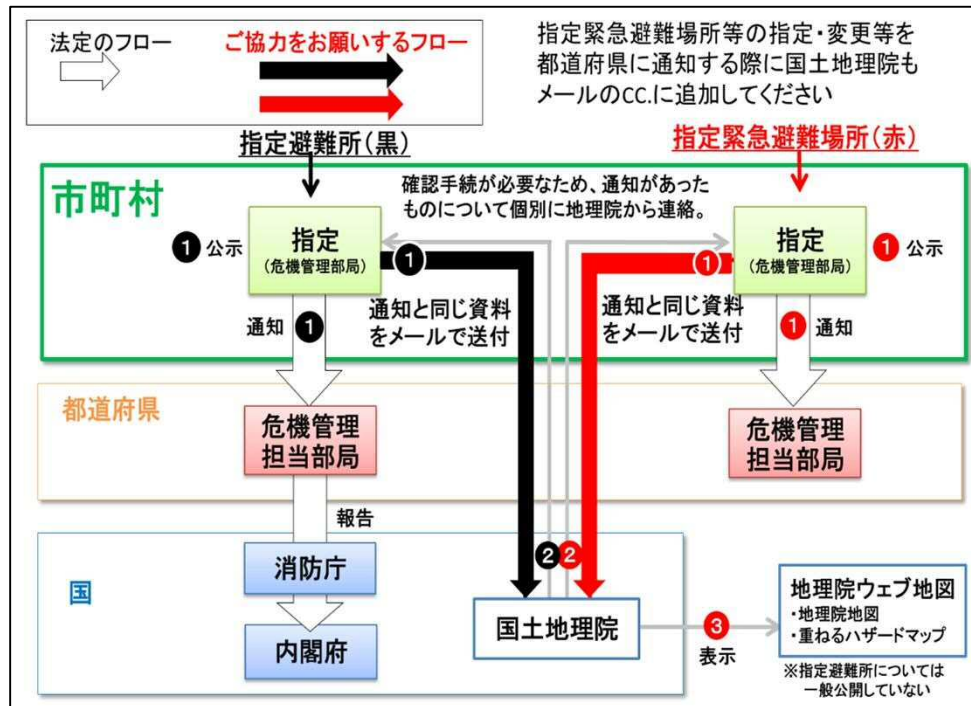
令和7年度取組予定 指定緊急避難場所情報の取組(継続) 国土地理院

○ 指定緊急避難場所情報について、国土地理院のウェブ地図である地理院地図や重ねるハザードマップに掲載するとともに、オープンデータとして提供します。

国土地理院には、災害対策基本法に基づく防災基本計画において、指定緊急避難場所等を反映した地理空間情報の整備、公開に努めることが求められています。

関係市町の皆様におかれましては、指定緊急避難場所等の指定・変更等を都道府県に通知する際には、国土地理院の下記窓口へ同様の資料(データ)をご送付ください。

また、**県のご担当者様**におかれましては、市町村から指定緊急避難場所等の指定・変更等の通知があった際には、国土地理院の下記窓口へ同様の資料(データ)を送付するよう、お伝え下さい。



指定緊急避難場所等データの整備・公開のための報告フロー

■地理院地図



■重ねるハザードマップ



■公開・更新情報CSVデータ

国土地理院のウェブ地図に掲載されている指定緊急避難場所のCSVデータをダウンロードできます。

市町村・都道府県コード及び市町村名	NO	施設・場所名	住所	避難所 洪水・内水・土石流及び地 盤災害	高層 建物	津波 危険	大規模 火災	指定 避難 場所 の 種 別	緯度	経度	備考
36204 徳島県阿南市	1	伊島中学校 (休校中) 校舎2階	徳島県阿南市伊島町瀬戸3		1			1	33.8444481	134.8091765	
36204 徳島県阿南市	2	伊島小学校 (休校中) 校舎2階	徳島県阿南市伊島町瀬戸3-2		1				33.84462186	134.8088761	
36204 徳島県阿南市	3	徳島県社会局	徳島県阿南市別所町岩崎町20-3	1				1	33.94166747	134.6180743	
36204 徳島県阿南市	4	志保小学校グラウンド	徳島県阿南市別所町岩崎町87			1		1	33.94206228	134.6157746	
36204 徳島県阿南市	5	志保小学校校舎2階以上	徳島県阿南市別所町岩崎町87	1	1			1	33.9423738	134.6156137	



上記に関する
動画のQRコード

【国土地理院窓口】

メールアドレス：gsi-hinanjo+1@gxb.mlit.go.jp

電話番号：029-864-6932

担当：国土地理院 応用地理部 地理情報処理課 指定緊急避難場所等グループ

令和7年度 取組予定（新規） 内外水統合型水害リスクマップの作成・検討

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(2) 情報伝達、避難計画等に関する事項

③ 想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表

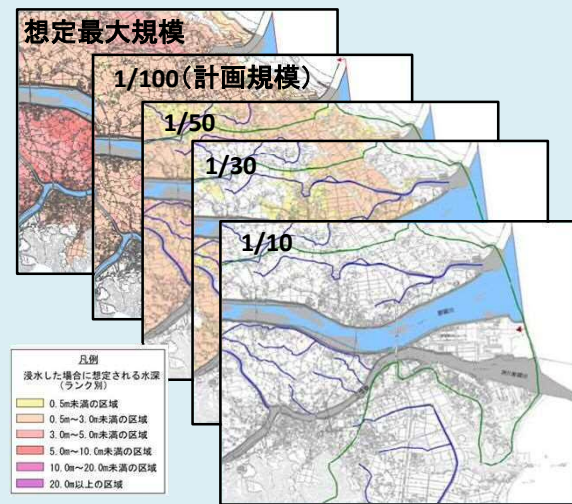
【四国地整】

国や都道府県では、これまで水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に活用する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し、公表してきました。

これに加えて那賀川河川事務所では、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択など、流域治水の取り組みを推進するため、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した、**那賀川及び桑野川の国管理区間からの氾濫と下水道等からの内水氾濫を考慮した**、多段階浸水想定図と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」の調査・検討及び作成・公表を目指します。

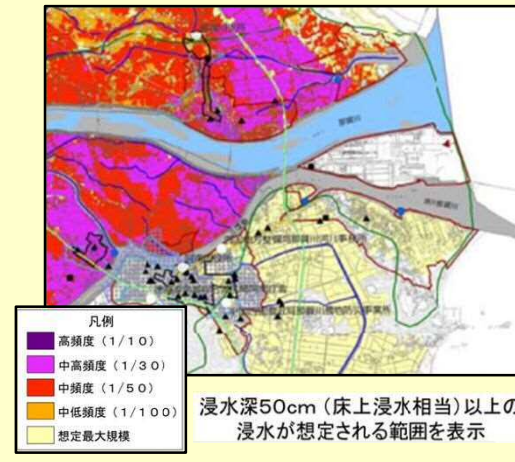
【多段階の浸水想定図】

想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（1/10、1/30、1/50、1/100（計画規模））に作成した浸水想定図



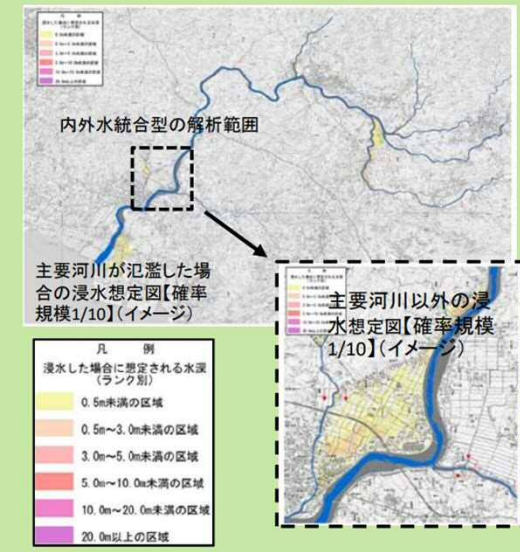
【水害リスクマップ】

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.5m未満、0.5m以上（床上浸水相当）、3.0m以上（1階居室浸水相当））に重ね合わせて作成した図面



【内外水統合型水害リスクマップ】

その他の河川や下水道からの氾濫による浸水を内外水一体型で表現した図面



令和7年度 取組予定（継続） 各種訓練等の継続実施

四国地整

那賀川河川事務所では出水期に向けて、那賀川・桑野川タイムラインに沿った洪水対応演習を実施します。
また、水防団との水防技術訓練や重要水防箇所の合同巡視・点検を実施すると共に、排水ポンプ車の操作訓練や樋門・排水機場の合同点検についても出水期までに実施する予定としています。
さらに、長安ロダム放流警報に関する周知会についても、例年同様開催する予定としております
令和6年度においても引き続きこれらの取組を確実に実施し、万全の体制で出水期を迎えられるよう準備を行います。



洪水対応演習



水防技術訓練



重要水防箇所の合同巡視・点検



排水ポンプ車操作訓練



許可工作物の履行確認



長安ロダム放流警報周知会

令和7年度 取組予定（継続） 貯水池における大規模地すべり影響検討

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

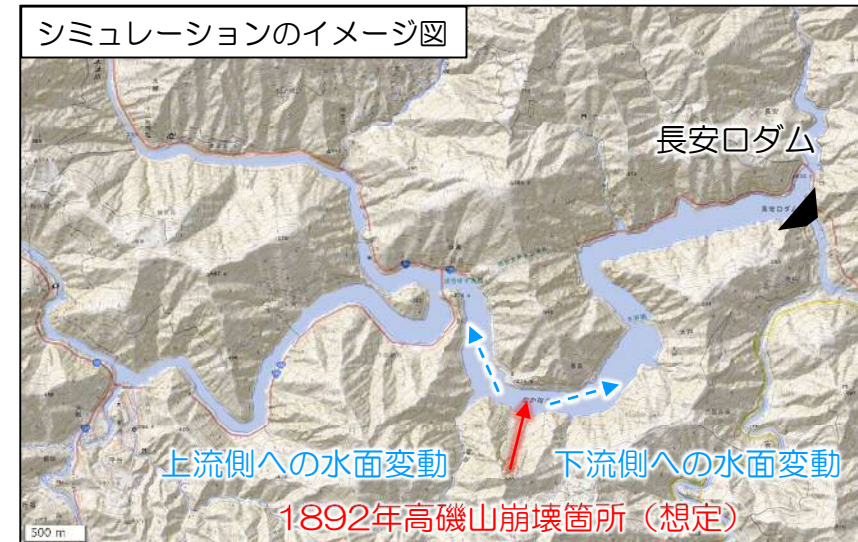
③貯水池大規模地すべり発生による影響検討

【四国地整】

令和6年度は、長安ロダム貯水池で大規模な地すべりが発生した場合における上下流域への影響を検討しました。

検討においては、既往最大規模の地すべり（1892年高磯山崩壊）と同規模程度のものを想定しています。

ダム上下流域への影響範囲（被害想定）が確認でき、既存の長安ロダム地すべり監視システムを用いて、地すべりの前兆を捉える事が出来るため、令和7年度以降は関係機関との連絡体制の構築を図っていく予定です。



※国土地理院地図に追記

■ R6年度時点と今後の取組フロー

令和
6年度

- ダム貯水池内の地すべりによる上下流域への被害状況を把握

令和
7年度
以降

- 下流域、上流域への被害状況を踏まえて、関係機関との連絡体制を構築

